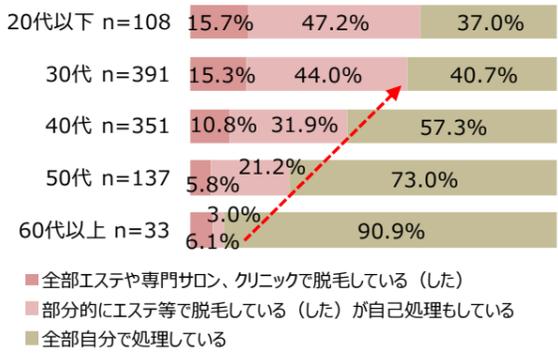


01 Woman's Trend

不満や不安はあっても、体験者の7割がエステなどの脱毛に満足。娘にも「行ってみたら？」 身体の毛なんていらない!? 若い世代の脱毛指向は募るばかり

グラフ1. 普段のムダ毛のお手入れは？

※そもそも処理しない(全体の6.8%)を除いて集計 n=1020



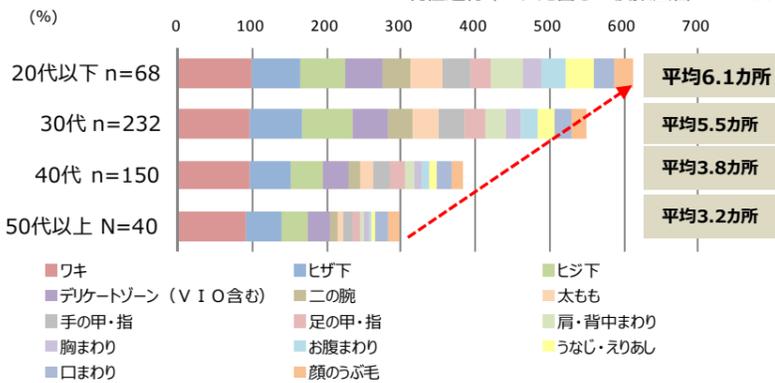
夏到来！電車の中は、アチラにもコチラにも脱毛の低価格キャンペーンを謳う広告が。エステ、専門サロン、クリニック…女性たちはどんなふうに脱毛のサービスを利用しているのだろうか。全国の女性1094人にムダ毛のお手入れ事情を聞いた。

本調査では、回答者の93.2%がムダ毛の処理をしているが、内訳を見ると、30代以下では6割がエステや専門サロン・クリニックなどの脱毛サービスを利用している(グラフ1)。若い年代は脱毛する箇所が多く、20代以下は一人平均6.1カ所、30代は5.5カ所の脱毛をしている(グラフ2)。未経験者の脱毛サービスへの関心の有無でも、20代以下の8割が「関心がある」と答えた(グラフ3)。「身体の毛は必要ない(29歳)」「すべてしたい！毛がないほど良いことはない！」(22歳)。

脱毛サービスを利用し始めた理由で多いの

グラフ2. エステ等で脱毛した人へ。これまでに脱毛した箇所は？

※現在進行中の人を含む *複数回答 n=490



は、「自己処理が面倒」(78.2%)、「自分では完全にはきれいにならない」(55.5%)、「自己処理によるカミソリ負け、乾燥、色素沈着などが気になる」(44.9%)。実は、自分でするムダ毛の処理について悩みを持つ人は、全体の7割に、20代以下・30代では約8割にも上る。

そんな悩める女性たちの、直近で利用した脱毛サービスへの満足度は70.6%と高い(グラフ4)。「費用は高かったが、処理がとても楽になった」(25歳)、「10年以上たった今も生えてこず、ノンストレス」(43歳)、「悩んでいたころの私に早く教えてあげたい」(32歳)。

一方で、不満や疑問もある。目立つのは「キャンペーン後の実質費用が不明確」「結局は高い金額を払わなくてはならない」という料金の仕組みに対する不信感。「予約が取りにくい」「次の予約は3カ月先」などのオペレーションへの不満、「行くたびに営業された」と、勧誘への不快感を挙げる声も多かった。

エステティック大手・TBCの名越華子さんは「脱毛市場は非常に伸びているが、特に美容ライト脱毛(光脱毛)を低価格で行う『専門サロン』が年々増加、客層を広げてきた。キャンペーンでとにかく数を集め、本コースに誘導するというビジネスモデルが、料金のわかりにくさや予約の取りにくさを生んでいるのではないかと。ただ、勧誘などお客様を不快にさせる行為については、TBCでは厳しく指導しており、業界全体でも改善が進んできた」と話す。

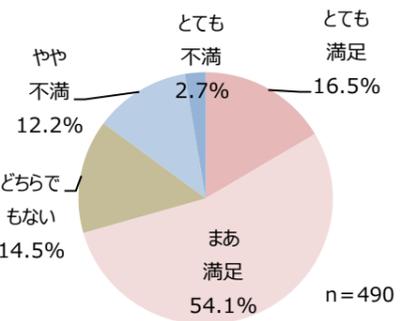
脱毛の低年齢化は顕著だ。モノにお金を使わないといわれる若い世代も、自らの磨き上げには投資する。脱毛サービスを利用した母親は、娘の脱毛に賛成する傾向が強く(グラフ5)、TBCでも、母親の勧めで来店する女性が増えているという。さらに親の介護を経験した50代以上が、自分の今後を考えて準備する「介護脱毛」の兆しも。静かに着実に『ムダ毛の常識』は変化していく。(副所長 滑川恵理子)

グラフ3. 自己処理のみの人へ。エステ等での脱毛に関心はあるか

n=530

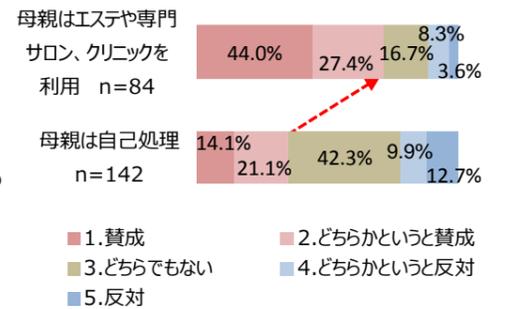


グラフ4. 直近で利用したエステ等の脱毛に満足しているか



グラフ5. 娘がエステ等で脱毛することをどう思うか？

*7歳以上の娘のいる母親のみ n=226



02 Working Woman's Real

【オフィスで働く女性の夕食事情】 過半数が週2回以上は20時以降に帰宅 家での遅い夕食に「不満アリ」

40代以下のオフィスで働く女性へのアンケートで、「平日、残業や習い事などで帰宅が20時以降になる頻度」を聞いたところ、「ほぼ毎日」という人が22.7%、「週2~3日ある」という人が28.9%。週2回以上は帰宅が20時以降になる人が過半数を占めた。

また「帰宅が20時以降になる場合、夕食はどうしているか？」については、65.0%が帰宅後に食べると回答。残業や習い事の前に食べる人も18.0%いるが、働く女性にとって、遅い時間に夕食をとる機会が少なくない実態が窺える。

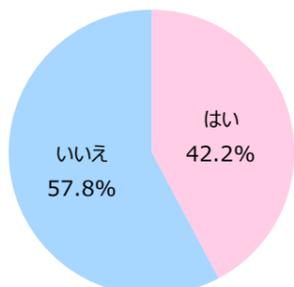
そんな状況の中、残業や習い事などで帰宅が遅くなる場合の夕食の取り方に「満足していない」という人が6割近く。その理由を自由回答で聞くと、「食べてから寝るまでの時間が短くて、翌朝胃がもたれる」「おなかがすき過ぎて、つい食べ過ぎてしまう」「自炊する時間がなくて、買って来たものなどで簡単に済ませることが多く、栄養バランスが気になる」といった声が目立った。

2017.06.08~06.13. 全国の企業に勤務する40代以下の女性を対象としたWeb調査。集計数：554

【残業や習い事などで帰宅が20時以降になる場合、夕食はどうしているか？】

残業や習い事の前に職場で食べる	7.2%
残業や習い事の前に外食する	10.8%
残業や習い事の後に外食する	4.7%
帰宅後、買って来た物を食べる	19.5%
帰宅後、自分が作った物を食べる	23.1%
帰宅後、家族が作った物を食べる	22.4%
食べない	4.3%
帰宅が20時以降になることはない	3.4%
その他	4.5%

【残業や習い事などで帰宅が遅くなる場合の夕食の取り方に満足しているか？】



03 Living Woman's Network

リビング新聞グループの女性組織紹介 ~あんふあんメイト ママたちの共感を呼ぶ情報発信力が魅力

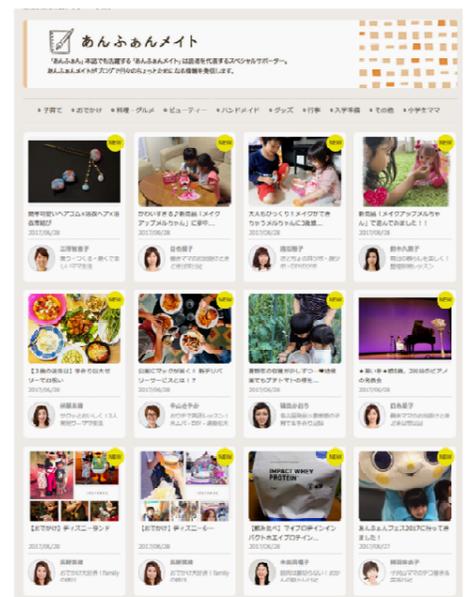
移動ポケットをご存じだろうか？ドラえもんのみみつ道具のようなネーミングだが、未就学児、特に女の子のママの注目アイテム。

ママのための子育て・育児支援サイト「あんふあんWeb」内では、この移動ポケットの作り方のブログ記事が、昨年からのランキング上位を記録し続けている。ブログを書いているのは、あんふあん読者を代表するスペシャルサポーター「あんふあんメイト」。

「あんふあんメイトブログは、60人のママブロガーが、読者と等身大の視点で自分の興味や関心事を発信しています。リアルでタイムリーな内容は、子育てママにとってもよく読まれています」(あんふあんWeb編集担当)。

60人がそれぞれ、月に4本以上の記事をアップしているの、常にママ達の関心が高い新しいネタが満載。あんふあんWebへのアクセスの半数はあんふあんメイトブログと、はずせないキラコンコンテンツになっている。

人気のテーマは、ハンドメイド、子どもと行けるお出かけスポット。同じ



「移動ポケット」って何？ 答えはあんふあんWebで http://enfant.living.jp/

くらの年齢の子どもを持つママたちの共感を呼ぶ情報発信力が魅力だ。